

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月28日

廿日市市陽光台5丁目1番地
社会福祉法人みどり会
理事長 柳瀬 昌央
(みどりの森ようこうこども園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・夏野菜植え
- ・泥、水遊び
- ・クッキング

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・水遊び
- ・お泊りキャンプ(年長)
- ・キャンプファイヤー(年長)
- ・川遊び(年長)
- ・夏野菜収穫、クッキング

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・芋掘り
- ・焼き芋会
- ・焚火
- ・山散歩
- ・落ち葉Tシャツ(保護者会主催)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・クッキング
- ・焚火
- ・大野自然の森登山(年長)
- ・山散歩

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

畑の草抜きを終えた後、耕運機を使って年長と一緒に畑を耕した。

「ちからが…」「つかれた～」という声と「こんなにたいへんだっただから、おいしいのができそう！」と期待を膨らませていた。

さつまいもの苗植えでは、地域の方に「ここを土の中に埋めると、ここからさつまいもがでてくるんだよ」と、教えてもらいながら3歳から5歳の子どもたちで一本ずつ植えることができた。苗に砂をかけながら「おいしくな～れ！おいしくな～れ！」と魔法をかけている子もいた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

年長のお泊りキャンプでは、バスに乗り近隣の滝まで出発！川遊びをする前から、「きもちよさそう」

「つめたいかな～」と、ワクワクしていた子どもたち。自然の滑り台や魚探しなど、思い思いに楽しんでいた。

手作りのレモネードを川で冷やしてみんなで飲むと「おいしー！」と何度もおかわりをしていた。

裏山から自分たちで取ってきた竹を使い、食具も手作りした。「たくさんみたいからおおきいコップにしよう」と一人ひとりが考えながら仕上げていた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

近隣の熊情報も落ち着き、自然体験活動アドバイザーの方に下見をしてもらった上で、山散歩を再開する。

落ち葉や枝を手に取り、「みてみて～」と発見を楽しんだり、倒れていた木を一本橋に見立てて渡ってみたりと、子どもたちが色んな遊びを自然の中から見つけてい。

木の枝を持ち「これは、たきびにつかえるよ」という子どもの声から、焚火ごっこが始まる。枝の先に葉っぱを刺して「マシュマロです」と、やりとりも楽しんでいた。その姿から、実際に園庭で焚火を囲んでマシュマロを焼いて食べた。遊びと経験がしっかりと繋がっていた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

もみの木森林公園にて年長が雪遊びを楽しんだ。季節の遊びをたくさん経験させてあげたいという担任の思いもあり、バス遠足で年長は雪遊びをした。

園から持参したソリを使って、「またいこうや」「いっしょにすべろう」と、何度も斜面を滑りおりて楽しんでいた。雪山にあった「かまくら」を見つけると、「これなに～」と観察。一人が入ると「まだはいれる」「すごーい」と友だち同士でやりとりしている姿があった。

雪玉を作りみんなで雪合戦も楽しんでいた。

「さむい」「ゆき、つめたいね」と、雪の感触や冷たさも感じる事ができた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

(例) こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ 自然保育アドバイザーの派遣依頼をし、植物などの自然物を知る機会を設けたり、園周辺の山の中での遊び方や活動等を学ぶ（ツルを使った籠の編み方など）
- ・ 自然保育に関する研修会へ参加し、職員に向けて報告会を行いみんなで共有する。
- ・ 県外などの自然保育に携わる園に見学に行き、情報交換等を通して他園の取り組みを知り自園に活かしていく。

- ・ 地域との関わりについて

(例) 専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ 地域の方に畑の知識を学び、一緒にお世話をする中で交流を行う。
- ・ 近隣にあるグランドゴルフ場に散歩に行き、利用されている高齢者の方との交流を図りながら、頂いた丸太を使い園庭の環境整備を行う。（飛び石のような遊具を作る）

- ・ 保護者との関わりについて

(例) 果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- ・ 保護者会で園周辺の草刈りや裏山整備の呼びかけを行い、開催する。（毎月）
- ・ 保育参加を通して保護者の方と一緒に散歩へ行く（随時）
- ・ 保護者の方に紹介をしてもらい、地域の方のお家で竹馬作りを行う。

- ・ その他

- ・ 夏以降にかけて、熊の情報もほとんどなくなり自然体験活動アドバイザーの方に山の様子を見てもらうと、遊ぶ周辺には熊の形跡はない！ということだったので11月下旬頃から裏山散歩を再開した。公園とは違う体の使い方や子どもたちが色んな発見・遊びをみつけている姿から、来年度も継続して遊べる機会・環境を作っていく。

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--